

## ●補欠の会員の選考手続について（改正案）

〔平成18年6月22日〕  
第18回幹事会申合せ

会員が任期満了の途中において定年、死亡、辞職又は免職により退任する場合、その後任者となる者（以下「補欠の会員」という。）の選考手続については、以下に定める要領に従って行うものとする。ただし、補欠の会員の選任は、少なくとも補欠の会員となった者が1回の通常総会に出席できるよう、任期末の前年の10月の総会以前の総会において補欠の会員候補者の承認を行うことができる場合に実施することができる。

1. 幹事会は、前任者の所属部等を考慮して補欠の会員の候補者（以下「候補者」という。）の推薦を依頼する部を決定する。
2. 会長は、幹事会の決定を受けて当該部に対し、候補者の推薦を依頼する。
3. 依頼を受けた部は、一般の連携会員の中から 3-5 人以内の複数の候補者を選定し、別紙様式により選考委員会に推薦する。依頼を受けた部における候補者の選定に際しては、選出しようとする分野の学問的専門性を踏まえた審議に加え、当該分野に隣接する分野の委員の参画を得て、より多面的な視点から審議を行う。
4. 選考委員会は、前項の推薦に基づいて、順位を付して候補者の名簿を作成し、幹事会に提出する。
5. 幹事会は、前項の名簿に基づいて1人の候補者を選定し、総会の承認を得て、内閣総理大臣に推薦することを会長に求める。
6. 第3項及び前項において候補者を選定し、並びに第4項において候補者の名簿を作成するに際しては、「第26期日本学術会議会員候補者の選考方針」（令和4年4月19日日本学術会議）2.の要件及び3.（2）の観点を考慮する。
- 7-6. 本申合せによる選考手続は、補欠の会員を選任する事由が発生した後遅滞なく開始し、適時に総会の承認を得ることができるように行うものとする。  
ただし、前任者の退任事由が定年である場合には、適時に総会の承認を得ることができるようにするため、前任者の定年に達する日に先立ち手続を開始することができる。

この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成 19 年 12 月 20 日日本学術会議第 48 回幹事会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成 21 年 3 月 19 日日本学術会議第 73 回幹事会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成 22 年 10 月 21 日日本学術会議第 109 回幹事会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成 23 年 3 月 17 日日本学術会議第 117 回幹事会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成 31 年 4 月 24 日日本学術会議第 277 回幹事会決定）  
この決定は、元号を改める政令（平成 31 年政令第 143 号）の施行の日  
から施行する。

附 則（令和 3 年 2 月 25 日日本学術会議第 308 回幹事会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

附 則（令和 4 年 5 月 25 日日本学術会議第 326 回幹事会決定）  
この決定は、決定の日から施行する。

令和      年      月      日

選考委員会委員長   ○  ○  ○  ○  あて

第○部部長   ○  ○  ○  ○

定年（又は 死亡、辞職、免職）により退任予定の（又は 退任した）○○  ○○  
会員の後任者として、一般の連携会員である別紙下記の者を推薦します。

記

補欠の会員の候補者（5人以内の複数）

| <del>氏</del> 名 | <del>生年月日</del> | <del>専門分野</del> | <del>現</del> 職 | <del>推薦理由</del><br><del>（100字以内）</del> |
|----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------------------------------|
|                |                 |                 |                |                                        |
|                |                 |                 |                |                                        |
|                |                 |                 |                |                                        |
|                |                 |                 |                |                                        |
|                |                 |                 |                |                                        |

~~（注1）「専門分野」は、分野別委員会に対応する30分野の中から一つを記入する。~~  
~~（注2）候補者について優先順位がある場合は、氏名の後に番号を付してください。~~

(別紙)

補欠の会員の候補者（3人以内の複数）（注1）

| 順位<br>(注2) | 氏 名 | 生年月日 | 性別 | 専門分野<br>(注3) | 現 職 | 主たる活動領域<br>(注4) | 地 区<br>(注5) | 推薦理由<br>(注6に該当がある場合は本欄に記載のこと)<br>(100字以内) |
|------------|-----|------|----|--------------|-----|-----------------|-------------|-------------------------------------------|
|            |     |      |    |              |     |                 |             |                                           |
|            |     |      |    |              |     |                 |             |                                           |
|            |     |      |    |              |     |                 |             |                                           |

（注1）日本学術会議法第17条において、優れた研究又は業績がある科学者のうちから会員の候補者を選考するとされています。

（注2）候補者について優先順位がある場合は番号を付してください。

（注3）「専門分野」は、分野別委員会に対応する30分野の中から一つを記入してください。

（注4）大学・研究機関以外に産業界、医療界、法曹界、教育界などでの実績がある場合はご記入してください。

（注5）日本学術会議の7つの地区で記載してください。

（注6）第26期日本学術会議会員候補者の選考方針」（令和4年4月19日日本学術会議。以下「選考方針」という。）において、会員候補者の選考に当たっては、以下のいずれかの要件を備えていると認められる者であることを考慮するとされています。候補者が該当する場合には、アに該当、イに該当、ア及びイに該当などとして記載してください。

ア 国内外の学術及び社会の動向を的確に把握し、科学・技術の発展方向を広い視野から展望して異なる専門分野間をつなぐことができること

イ 国内外の学術及び社会の動向を的確に把握し、科学・技術の発展方向を広い視野から展望しつつ、政府や社会と対話し、課題解決に向けて取り組む意欲と能力を有すること

## 日本学術会議補欠会員候補者推薦書

… 必須入力項目です  
 … どれかひとつは入力して下さい

氏名：  < 姓 >  < 名 > 性別：  ※[男][女]から選択して下さい  
 ふりがな：   ※全角ひらがな 生年月日：  就任時  歳（自動計算）  
 西暦4桁／月／日形式で入力して下さい

戸籍名：    
 ふりがな：   ※全角ひらがな

※ 通常使用している氏名と戸籍名が異なる場合に記入して下さい <姓><名>のどちらかだけが異なる場合でも、<姓><名>の両方を入力して下さい

候補者の日本学術会議での現職／非現職区分 ※ドロップダウンリストからの選択です

現会員 である

勤務先名：   
 勤務先での職名：

< 自宅住所 >

郵便番号：  ※ハイフン区切り半角数字  
 都道府県：   
 所在地（市区町村以下）：  
  
 建物等名：   
 電話番号：  ※ハイフン区切り半角数字  
 FAX番号：  ※ハイフン区切り半角数字  
 E-mail：

< 勤務先 > ※勤務先がない場合は、自宅住所を再度記入して下さい

郵便番号：  ※ハイフン区切り半角数字  
 都道府県：   
 所在地（市区町村以下）：  
  
 建物等名：   
 電話番号：  ※ハイフン区切り半角数字  
 内線番号：   
 FAX番号：  ※ハイフン区切り半角数字  
 E-mail：

※ 郵送以外に、自宅か勤務先の中で少なくとも1つの連絡方法を入力して下さい

優先する連絡先：  に連絡する ※[自宅][勤務先]から選択して下さい

< 主要な学歴および学位を3件以内で記入して下さい >

| 学歴・学位  | 年                    | 月                    | 学歴・学位の内容             |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 学歴・学位1 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 学歴・学位2 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 学歴・学位3 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

※西暦4桁を半角で入力して下さい ※1～12の半角数字で入力して下さい

< 主要な職歴を7件以内で記入して下さい >

| 職歴  | 年                    | 月                    | 職歴の内容                |
|-----|----------------------|----------------------|----------------------|
| 職歴1 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 職歴2 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 職歴3 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 職歴4 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 職歴5 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 職歴6 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 職歴7 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

※西暦4桁を半角で入力して下さい ※1～12の半角数字で入力して下さい

現職名・名簿記載職名：

※ こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名となります

< 専門分野を「科学研究費補助金」の細目でいえばどの分類に相当するかを、  
「専門分野一覧表」シートを参照して、そのコードを3件以内で入力して下さい >

※ 科学研究費補助金を受取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野をできるだけ入力して下さい

＜コード＞ ＜細目名＞

専門分野(科研費細目名) 1:   ※ #N/A と表示された場合は<コード>が誤りです

専門分野(科研費細目名) 2:   ※ #N/A と表示された場合は<コード>が誤りです

専門分野(科研費細目名) 3:   ※ #N/A と表示された場合は<コード>が誤りです

< 主要な研究内容を3件以内で記入して下さい >

研究内容 1:

研究内容 2:

研究内容 3:

< 所属している国内の学会の名前を3件以内で記入して下さい >

国内所属学会名 1:

国内所属学会名 2:

国内所属学会名 3:

< 所属している海外の学会の名前を3件以内で記入して下さい >

国際所属学会名 1:

国際所属学会名 2:

国際所属学会名 3:

< 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を5件以内で記入して下さい >

業績 1:  ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択して下さい

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は  
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は  
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:  ※西暦4桁を半角で入力して下さい

業績 2:  ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択して下さい

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は  
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は  
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:  ※西暦4桁を半角で入力して下さい

業績 3:  ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択して下さい

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は  
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は  
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:  ※西暦4桁を半角で入力して下さい

業績 4:  ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択して下さい

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は  
産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は  
会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:  ※西暦4桁を半角で入力して下さい

業績 5:  ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択して下さい

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:

標題、書名又は

産業財産権の名称:

雑誌名、出版社又は

会議名、開催場所等:

発行年、開催年又は取得年:

※西暦4桁を半角で入力して下さい

< 主要な受賞歴を3件以内で記入して下さい >

|        | 受賞年                  | 賞名                   | 授賞機関                 |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 受賞歴 1: | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 受賞歴 2: | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 受賞歴 3: | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

※西暦4桁を半角で入力して下さい

< 実務の現場での実績(※1)、国際関係での実績、重点課題等に関連する研究実績(※2)がある場合には、3件以内で記入して下さい >

※[実務の現場][国際関係][重点課題等]から選択して下さい

業績 1:

業績 2:

業績 3:

(※1) 大学・研究機関だけではなく、産業界、医療界、法曹界、教育界といった実務の現場における優れた研究又は業績

(※2) 第26期に重点的に取り組む事項、分野横断的・中長期的に取り組む課題等を以下のとおり想定している。

- ① 持続可能で安全な社会づくりのための取組（キーワードの例示：カーボンニュートラル、気候変動、防災減災、パンデミック等）
- ② 人間性が尊重される豊かで幸福な社会の実現（キーワードの例示：人口縮小、格差、多様性、人権、多文化等）
- ③ ①、②に資する学術の発展（キーワードの例示：研究力、人材育成、頭脳循環等）
- ④ 国際連携の一層の推進